

所管事務調査の報告

総務文教常任委員会

「町営バス運行状況について」

去る、11月9日、松本ふるさと振興課長及び山田企画係主事を説明員に、町営バス運行状況について七ヶ宿中学校前バス停や松原バス停の設置状況など現地確認を含め調査を行いました。

刈田病院経由の便数の不便については地域公共交通会議において協議しており、経費との兼ね合いから利用者数も係わるとの説明がありました。中学校前バス停が冬期間には不適切であることについては、学校や教育委員会、父兄からの要望がないことから当面は対応する考えはないが、小中一貫校の問題もあることから、今後検討したいとの説明がありました。しかし、各委員から利用者数の少ない時間帯の循環バスの減便や、刈田病院へのシャトルバス運行の新設、中学校向いの保育所側へ囲いのあるバス停増設や街並み景観にふさわしい松原バス停の設置など、高齢化に伴う課題が浮上している本町の実情への様々な意見、提案がありましたので行政として町民の利便性や福祉優先の施策に一層しっかりと取り組む認識が必要であると切に感じたことを申し添え報告とします。

総務文教常任委員会

委員長 吉田 修



所管事務調査の報告

産業建設常任委員会

「ふるさと体験交流館の状況について」

去る、11月13日松本ふるさと振興課長、橋本補佐を説明員として10月25日にオープンしたふるさと体験交流館「おたて」とその周辺の魅力を発信し、また誘客を図るべく周辺環境を今後どう整備し利用価値を高めることができるのか現場調査を含め調査をいたしました。

「おたて」の機能と周辺環境の整備により自然体験や農業体験、スポーツ合宿等の誘客を図るべく今後外構工事（グラウンド・駐車場の整備と進入路）の工事に概算で2億5千万円の予算を投じて実施しようとする計画であります。

グラウンドの整備については天然の芝を貼りグラウンドゴルフやフットサルなどのスポーツを楽しむことができ、また道路改良工事は「おたて」への進入路の勾配を緩やかにして駐車場への車両の乗り入れを可能にするため道路の拡幅と勾配の緩和が計画されております。

来年度には工事の着工を計画しており今後多額の予算が見込まれることから財源の確保に努め「おたて」の持つ機能を十分に生かし周辺の環境整備を整えて誘客につなげることが急務であると考えます、課題は多いものの環境整備後の維持管理費や湯原城も含めた周辺一帯の有効利用など活用できる素材は多く存在すると思えます。

この宿泊施設が利用者のニーズにこたえ安定した経営が出来ることを希望し報告といたします。

産業建設常任委員会

委員長 梅津 政 志

